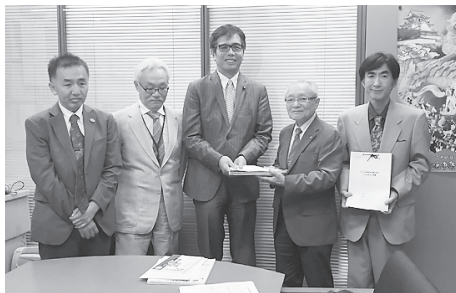


患者負担増許さない 署名7万筆超を中間集約

保団連
国会行動

協会は、高齢者への窓口負担増などさらなる患者負担増計画の中止と熊本地震被災者への医療・介護の確保を求めて5月19日、国会議員要請を行った。保団連は、「ストップ！患者負担増計画提出集会」を国会内で開催し、「さらなる患者負担増計画の中止を求める請願」7万1395人分を中間集約し(5月18日現在)提出したことを報告。要請・集会には全国20協会100人が、協会からは役員・事務局ら15人が参加した。同署名は7月末まで取り組む。



上・宮本議員(中央)と要請団
下・清水議員(左から3人目)と要請団

「2015年学校歯科治療調査」を示しながら、歯科医療にかかれない患者の実態なども訴えた。宮本議員は、「貧困と格差が口の中を見れば一目瞭然。負担軽減は当たり前だ」と賛同。7月の参院選の動向に触れ、「32の一人区すべてで野党共闘ができてうだ。市民、野党が共同して保守

対野党の対決構図が生まれていく。安倍政権の暴走を止める大きなチャンスだ」と話した。「さらなる患者負担増計画の中

5・19国会行動 要請議員一覧

大阪選出議員46人への陳情結果は、議員面談2人、秘書対応33人、不在11人。
【面談】
衆院〈共産〉宮本岳志、清水忠史
【秘書対応】
衆院〈自民〉大隈和英、岡下昌平、大西宏幸、とかしきなおみ、北川知克、中山泰秀、大塚高司、佐藤ゆかり、左藤章、長尾

止を求める請願13320筆と「新たな患者負担増をやめ患者申出療養の撤回を求める請願」324筆を託した。

止を求める請願13300筆と「新たな患者負担増をやめ患者申出療養の撤回を求める請願」324筆を託した。

敬、原田憲治、神谷昇、竹本直一、〈公明〉北側一雄、佐藤茂樹、伊佐進一、浮島智子、樋口尚也、〈民進〉平野博文、辻元清美、〈維新〉井上英孝、浦野靖人、遠藤敬、馬場伸幸、足立康史、木下智彦、伊東信久
参院
〈自民〉太田房江、柳本卓治、北川イッセイ、〈公明〉山本香苗、〈民進〉尾光源幸、〈共産〉山下芳生
(敬称略・順不同)

基軸 アベノミクス 恐るべき正体 ⑤

同志社大学大学院教授・浜矩子氏に聞く



浜先生は、軍事大国化を目指す安倍政権の経済・安保政策を批判されています。昨年、強行された安保法制についてはいかがですか？

戦後、日本の軍国化に対する大いなる歯止めの役割を果たしてきたのが憲法9条です。その9条を踏み破ったのが安保法制です。戦争や殺し合いはしてはいけない。人間としての「原理原則」が大事です。日本国憲法の平和主義の徹底が今こそ求められています。参議院の32の一人区は統一候補の擁立が進んでいます。いま、安倍政権への抗

戦後、日本の軍国化に対する大いなる歯止めの役割を果たしてきたのが憲法9条です。その9条を踏み破ったのが安保法制です。戦争や殺し合いはしてはいけない。人間としての「原理原則」が大事です。日本国憲法の平和主義の徹底が今こそ求められています。参議院の32の一人区は統一候補の擁立が進んでいます。いま、安倍政権への抗

「2015年学校歯科治療調査」を示しながら、歯科医療にかかれない患者の実態なども訴えた。宮本議員は、「貧困と格差が口の中を見れば一目瞭然。負担軽減は当たり前だ」と賛同。7月の参院選の動向に触れ、「32の一人区すべてで野党共闘ができてうだ。市民、野党が共同して保守

21世紀の市民革命

議運動が第2ステージに入りました。私たちが目の当たりにしているのは、21世紀の市民革命と言えましょう。若いも若きも顔触れも多彩。ここに希望があります。立憲主義を破壊する安倍政権に、立憲主義を対峙していくことが大事。まさにこれからが本番です。野党は希望のともし火を大きくするために、市民の声を真摯なことに聞かないよう強い危機意識と決意で最後まで共闘を広げてほしい。その上で、安倍政権を本気で倒し、戦争法を廃案にするためには、安倍政権に変わる国民的連合政府を構想することも必

安倍政権の補完勢力

大阪では、おおさか



要になってくるでしょう。野党には大道団結して選挙協力の先を展望してもらいたいですね。維新に期待する府民も少なくありません。新自由主義的政策や改憲志向の点でおおさか維新は安倍政権の補完勢力となっています。現状への閉塞感に対し、仮想敵をつくって弱者や庶民の不满を煽る。米大統領選のトランプ候補へ広がる支持とも似通っているのではないのでしょうか。実態は人の痛みをわが痛みとして感じ取れない、幼児的凶暴性です。彼らの化けの皮をはがして、幻想を一過性の現象で終わらせなければなりません。(JUK)

患者への心遣いが基本 新人スタッフ講座に134人



臨床・学術部は、医療 得をめざし、新人スタッフ 従事者としての必要な接 遇マナーや専門知識の習 得を目的として、5月15日に 開催した。歯科衛生士、歯 科助手ら134人が参加 した。 接遇マナーの講師を務 めた大手前短期大学教授 ・水原道子氏は、歯科医 院の特徴や、医療現場で 起こる事例を紹介しながら 対応法を解説し、「患者 者への心遣いが基本」と 強調した。 助手編では、西川真二 氏(歯科臨床学術部員) が『デンタルスタッフの ための歯科保険診療ハン ドブック』をテキストに 自身の経験談も交えなが ら受付事務の基礎知識と 歯科診療の流れを解説し た。 衛生士編では、ベテラ ン衛生士が講師を務め、 事例紹介に基づき講義と 4種類のブラシやフロス を用いた相互実習を行っ た。 参加者からは「写真を まじえての講義はとても 理解しやすかった」「相 互実習を行うことで指導 の改善点をより理解でき た」「症例に合わせたブ ラッシングやブラシで症 状が改善していくこと に、衛生士としてのやり がいを感じた」などの感 想が寄せられた。

TPPの罠2 史上最悪の農業つづし

2015年10月20日に公開された環太平洋連携協定(TPP)の大筋合意内容を受け、農業関係者に衝撃が走った。当初の予想を超える広い範囲で関税撤廃がなされるからだ。現場の農家からは、不安と怒りの声があがっている。 TPPによる日本の関税撤廃率は95%で、農林水産品では2594品目のうち2135品目(82%)が撤廃される。「聖域」とした米や麦、牛・豚肉などの重要5項目(全5806品目)では174品目(29%)が撤廃。米でも関税ゼロの「特別輸入枠」が設けられる。 国会決議では「重要項目については」除外又は再協議の対象とする」としており、今回の合意内容は明確な決議違反である。また、徹頭徹尾、秘密交渉を貫き、ほとんど黒塗りにされた交渉資料を国会に提出する政府の姿勢は、とても容認できるものではない。 関税撤廃は現時点で合意されている項目にとどまらない。日本は、7年後に米国など農産物輸出5カ国の要請に応じ、関税、関税割

農家から不安と怒りの声

TPP大筋合意で、農林水産物の生産減少額が著しい主な品目

品目	2015政府試算		減少率 (%)
	生産減少額 (億円)	生産減少額 (億円)	
米	0	1197	6.7
牛乳乳製品	198~291	972	14.2
豚肉	169~332	2827	48.8
牛肉	311~625	1738	31.1
鶏卵	26~53	1100*	23
鶏肉	19~36	990*	32.9
みかん	21~42	911	58.9

2013年の生産額を基準にした生産減少額と減少率
*は「大筋合意」の関税撤廃品目であるため、関税撤廃を前提とした前回の政府試算の数字を使用